

※展覧会名等は変更することがございます。

次回展予告

全長3メートル！
「自在置物」の龍が登場！



《自在龍》宗義

世界最大の自在龍。胴、脚、爪を動かすことができます。
作者の宗義は田中唯吉といい、京都の高瀬好山工房の職人で、
蛇、鯢、伊勢海老、昆虫などがあります。自在置物の作者と
しては最も多くの作品を残しています。

「驚きの明治工藝」展

平成28年 11月12日(土)～12月25日(日)

台湾に、明治時代を中心とした日本の工芸作品の
一大コレクションがあるのをご存知でしょうか。
本展では、全長3メートルもの世界最大の龍の「自在
置物」をはじめ、漆芸・金工・彫刻・染織など様々な
ジャンルから、細密・写実的で驚きいっぱいの作品、
約130件をご紹介します。

※本展会場内は写真撮影が可能です。

- ・撮影は個人での利用目的に限ります。
- ・一脚・三脚・自撮り棒などの使用とフラッシュの使用はできません。
- ・まわりのお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願いします。

INFORMATION

主催

細見美術館、朝日新聞社

協力

あいおいニッセイ同和損保、日本航空

企画協力

東京藝術大学

入館料

一般 1300円(1200円)

大学生・高校生 800円(700円)

中学生・小学生 無料

※()内は20名様以上の団体料金

休館日

毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間

午前10時～午後6時

(入館は、午後5時30分まで)

会場

細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

tel.075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>